

戦没者の冥福を祈る 平和の像慰霊祭

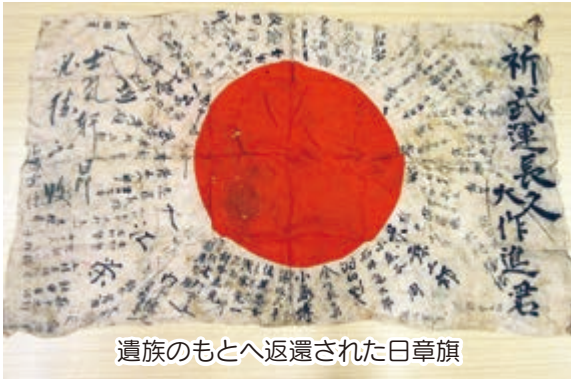


8月15日、八坂公園において、坂東市戦没者遺族会主催による「平和の像慰霊祭」が行われました。

当日は、市内の遺族の方約50人が参列され、戦争で犠牲になった坂東市出身の約1500人を追悼しました。

また、慰霊祭に先立ち、「日章旗返還式」が行われ、フィリピンで戦死された大作進さん（陸軍兵長）の日章旗が、およそ70年の時を経て、大作さんのご遺族の元に返還されました。

日章旗は、元米兵の遺族の方が、永年、遺品として大切に保管されていましたが、旗（寄せ書き日の丸）の本来の意味を知り、「旗は日本のご遺族へ返還すべきだ」というお気持ちになられたそうです。そしてこの度、米兵が国へ持ち帰った日章旗を日本の遺族のもとへ返還する活動を行っているアメリカ合衆国NPO団体により、日本遺族会及び茨城県遺族連合会の協力を得て、大作さんのご遺族のもとへ返還されました。



遺族のもとへ返還された日章旗

庭打地区会 宝くじ助成で備品を新調！

庭打地区会では、一般財団法人自治総合センターが行っている宝くじの助成金（コミュニティ助成事業）を活用し、盆踊り大会で使用する太鼓や櫓照明配線、テントなどのコミュニティ活動備品を整備しました。

庭打地区会の盆踊り大会は、地域住民をつなぐ伝統行事として毎年行われています。今年は台風の影響で開催も危ぶまれましたが、無事に開催することができ、地区のみなさんが大勢集い親睦を深めました。



コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために助成しているものです。



▼「会社のお金が入ったバツクを電車内に置き忘れた。お金が急に必要になった。」は詐欺です